

令和7年7月18日
総務常任委員会資料
消防本部警防課・救急課

令和7年上半期の火災・救急・救助概要について

加古川市消防本部

火 災 概 要

1 火災件数

- (1) 令和7年上半期の火災件数は54件で、前年同期と比較すると20件の増加となっています。
- (2) 火災種別ごとの火災件数を前年同期と比較すると「建物火災」は29件で5件の増加、「林野火災」は3件で3件の増加、「車両火災」は4件で1件の増加、「その他火災」は18件で11件の増加となっています。
- (3) 火災件数のうち「建物火災」の占める割合は53.7%となっています。

市町別 \ 火災種別	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	増 減 数
加古川市	26	3	2		14	45	+13
稲美町	2		1		2	5	+4
播磨町	1		1		2	4	+3
合 計	29	3	4	0	18	54	+20
増 減 数	+5	+3	+1	±0	+11	+20	

2 被害程度

(1) 人的被害

ア 火災により、47世帯68人がり災しています。

イ 「死者」は3人で、前年同期と比較すると2人の増加、「負傷者」は15人で、10人の増加となっています。

市町別 \ 区分	り災世帯数 (世帯)	り災人員 (人)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
加古川市	45	65	1	14
稲美町	2	3	2	
播磨町				1
合 計	47	68	3	15
増 減 数	+24	+16	+2	+10

(2) 物的被害

ア 建物火災の焼損床面積は 799 m²で、前年同期と比較すると 273 m²の増加となっています。

イ 建物火災による損害額は 5,765 万 8 千円で、前年同期と比較すると 1,457 万 9 千円の増加となっています。

区分 市町別	建物焼損 床面積 (m ²)	焼損床面積 増減数 (m ²)	損害額 (千円)	損害額 増減数 (千円)
加古川市	657	+ 131	55,447	+ 12,415
稲美町	142	+ 142	2,111	+ 2,101
播磨町		±0	100	+ 63
合計	799	+ 273	57,658	+ 14,579

3 出火原因

主な出火原因は「たき火・焼却火」が 17 件で全体の 31.5%と最も多く、次いで「電灯・電話等の配線」が 6 件、「こんろ」が 5 件となっています。

市町別 原因別	加古川市						稲美町						播磨町						合計
	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	小 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	小 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	小 計	
たき火・焼却火	2	3			10	15	1				1	2						0	17
電灯・電話等の配線	4					4			1			1	1					1	6
こんろ	5					5						0						0	5
放火	3					3						0					1	1	4
たばこ	3					3						0						0	3
配線器具	1					1						0			1			1	2
電気機器	1					1						0						0	1
電気装置					1	1						0						0	1
溶接機・切断機						0						0					1	1	1
灯火						0	1					1						0	1
取灰					1	1						0						0	1
その他 (上記以外)	6		2		1	9						1	1					0	10
不明	1				1	2						0						0	2
合計	26	3	2	0	14	45	2	0	1	0	2	5	1	0	1	0	2	4	54

4 その他災害の活動状況

(1) 令和7年上半期のその他災害件数は631件で、前年同期と比較すると7件の増加となっています。

(2) 主な種別ごとに前年同期と比較すると、「危険物排除」は31件で9件の減少、「誤報」は55件で7件の減少、「救急支援」は461件で9件の増加となっています。

(3) その他災害件数のうち、「救急支援」の占める割合は73.1%となっています。

種別	内容	加古川市	稲美町	播磨町	他市	小計	合計	増減数
危険物排除	施設等から危険物の流出					0	31	-9
	交通事故等による油流出	21	6	4		31		
燃焼物排除	たき火・焼却火	11	5	1		17	17	+9
	火あそび					0		
警戒・警備	異臭・異音	1				1	10	-7
	危険物流出事故の警戒	2				2		
	防災へり等の離着陸場の設定、誘導、警戒	6				6		
	建物等の倒壊、落下に対する警戒					0		
	鎮火後の現場警戒	1				1		
誤報	自動火災報知設備等の誤作動又は誤操作	34	6	4		44	55	-7
	火災と見誤ったもの(たき火の煙、水蒸気等)	8	2	1		11		
	虚偽の通報					0		
水防	風水害等の活動又は警戒					0	0	-6
調査	事後に知り得た災害事故調査	5		1		6	6	+3
救急支援	心肺機能停止状態が疑われる場合の支援	278	52	29		359	461	+9
	安全管理を要する道路における支援	53	1	10	1	65		
	傷病者の搬出における支援	16	1	3		20		
	その他	11	4	2		17		
その他	上記の種別に該当しないもの	39	8	3	1	51	51	+15
合計		486	85	58	2	631	631	+7

救 急 概 要

1 救急出動件数

(1) 令和7年上半期の救急出動件数は9,673件、搬送人員数は8,716人で前年同期と比較すると救急出動件数は351件増加、搬送人員数は205人増加しています。

(2) 救急出動件数は1日平均53.4件（前年同期51.2件）で、26.9分（同28.1分）に1回の頻度で救急出動しています。また、1日の最多救急出動件数は95件（同78件）となっています。

(3) 現場到着所要時間の平均は8.9分（前年同期+0.2分）となっています。

市町別	区分	救急件数	増減数	搬送人員	増減数
加古川市		7,807	+328	7,023	+223
稲美町		924	+20	855	+11
播磨町		931	-4	832	-31
他市		11	+7	6	+2
合計		9,673	+351	8,716	+205

2 事故種別ごとの救急出動件数

事故種別については、「急病」が最も多く6,495件で前年同期と比較すると326件増加し、全体の67.1%を占めています。

事故種別	区分	急病	一般負傷	交通	転院	その他	合計
件数		6,495	1,511	585	672	410	9,673
比率		67.1	15.6	6.0	7.0	4.2	100
増減数		+326	-14	-40	+39	+40	+351

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

3 傷病程度別の搬送人員数

傷病程度別については、「中等症」が最も多く3,702人で前年同期と比較すると58人減少し、全体の42.5%を占めています。

傷病程度	区分	軽症	中等症	重症	死亡	合計
人員数		3,700	3,702	1,162	152	8,716
比率		42.5	42.5	13.3	1.7	100
増減数		+163	-58	+97	+3	+205

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

4 年齢区分別の搬送人員数

年齢区分別については、「高齢者」が最も多く 5,389 人で前年同期と比較すると 168 人増加し、全体の 61.8%を占めています。

年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
人員数	3	535	382	2,407	5,389	8,716
比率	0.0	6.1	4.4	27.6	61.8	100
増減数	-1	-52	+10	+80	+168	+205

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

※統計表中の「0.0」は、単位未満の数を示しています。

5 病院収容所要時間別の搬送人員数

(1) 救急事故の覚知から傷病者を医療機関に収容するまでに要した時間は、「30分以上60分未満」が最も多く 5,745 人で全体の 65.9%を占めています。

(2) 病院収容所要時間の平均は 39.2 分（前年同期+0.3 分）です。

所要時間区分	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均 所要時間
人員数	1	188	2,047	5,745	697	38	39.2
比率	0.0	2.2	23.5	65.9	8.0	0.4	
増減数	+1	+5	+49	+69	+73	+8	

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

※統計表中の「0.0」は、単位未満の数を示しています。

救 助 概 要

1 救助出動件数

(1) 令和7年上半期の救助出動件数は197件で、前年同期と比較すると26件増加しています。

(2) 事故種別ごとの救助出動件数は、「建物等による事故」が119件(60.4%)と最も多く、次いで「火災」が28件(14.2%)となっています。

事故種別 市町別	火災	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	その他の事故	合計	増減数
加古川市	24	16	2		90		21	153	+10
稲美町	2	5			11		2	20	+8
播磨町	1	1			18		2	22	+6
他 市	1	1						2	+2
合 計	28	23	2	0	119	0	25	197	+26
増減数	+15	-9	±0	-2	+22	-3	+3	+26	

※「建物等による事故」とは、建物内での「挟まれ」や「閉じ込め」、また、「施錠された建物内での安否確認」等も含まれています。

2 事故種別ごとの救助人員数

(1) 救助人員数は101人で、前年同期と比較すると23人の増加となっています。

(2) 事故種別ごとの救助人員数は、「建物等による事故」が68人(67.3%)と最も多く、次いで「その他の事故」が16人(15.8%)となっています。

事故種別 市町別	火災	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	その他の事故	合計	増減数
加古川市	2	9	2		57		12	82	+15
稲美町	1	3			6		2	12	+7
播磨町					5		2	7	+1
他 市								0	±0
合 計	3	12	2	0	68	0	16	101	+23
増減数	+1	+1	+1	±0	+15	-2	+7	+23	

3 傷病程度別の救助人員数

事故種別・傷病程度別の救助人員数を前年同期と比較すると、「死亡」は29人で8人の増加、「重症」は14人で1人の増加、「中等症」は21人で1人の増加、「軽症」は15人で4人の増加となっています。

事故種別 傷病程度	火災	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	その他の事故	合計	増減数
死亡	2		1		25		1	29	+ 8
重症					13		1	14	+ 1
中等症	1	4			12		4	21	+ 1
軽症		7	1		3		4	15	+ 4
その他		1			15		6	22	+ 9
合計	3	12	2	0	68	0	16	101	+ 23
増減数	+ 1	+ 1	+ 1	±0	+ 15	- 2	+ 7	+ 23	

災害等の受信状況

1 119番通報受信件数

- (1) 令和7年上半期の119番通報受信件数は13,003件で、前年同期と比較すると595件増加(+4.8%)しています。
- (2) 119番通報受信件数は、1日平均71.8件(前年同期68.1件)で、20.0分(前年同期21.1分)に1件の頻度で受信しています。

種別	令和7年	令和6年	増減数
火災	153	51	+102
救急	9,149	8,765	+384
救助	144	133	+11
その他災害	146	126	+20
いたずら	19	216	-197
間違い	651	504	+147
その他	2,741	2,613	+128
合計	13,003	12,408	+595

2 119番通報以外の手段による災害の受信件数

令和7年上半期の119番通報以外の手段による災害の受信件数は845件で、前年同期と比較すると2件減少(-0.2%)しています。

手段	令和7年	令和6年	増減数
加入電話	596	551	+45
警察電話	31	49	-18
駆け付け	53	53	±0
NET119	1	0	+1
FAX119	0	0	±0
緊急通報サービス	28	39	-11
その他	136	155	-19
合計	845	847	-2